田原市　あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.65
平成30年1月15日号

今月の渥美半島の花
「リシアンサス」

平成29年第4回定例会（12/1～15）

■定例会で決まったこと・・・・・・・・・・ 2
■審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

その他

■新年のごあいさつ・・・・・・・・・・・ 12
■マニフェスト大賞にノミネート・・・・ 12
■議会報告会・・・・・・・・・・・・・・ 15

輝け!!
田原から全国へ

昨年12月17日に滋賀県で開催された全国中学校駅伝大会に出場した東部中学校駅伝部の皆さんです。
（インタビュー16ページ）

消防団員が誕生

第4回　定例会（12月1日～15日）

こんなことが決まりました。

市長提出議案	29件
議員提出議案	1件

第4回定例会は、12月1日から15日まで開催しました。
平成29年度一般会計補正予算を含む議案30件を、いずれも原案のとおり可決・承認しました。
また、陳情2件を審査し、不採択としました。

▷関連　4・5ページ

議案第97号消防団条例の一部改正

消防団に女性消防団員が加わります

多様化する消防業務への対応と消防団の活性化を促進するため、消防団組織を改編し、定員が720人から730人に増加されました。これにより、新たに消防団本部団員として女性消防団員10人が加わり、応急手当の普及啓発や大規模災害時の後方支援活動など多岐にわたって、女性ならではのきめ細やかな活動をしていきます。

田原市に女性

議案第89号市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正

（仮称）童浦こども園が整備されます

市立保育園の適正化と民営化を進めるため、北部保育園と山北保育園が統合され、山北保育園が廃止されます。山北保育園の跡地は、今後、民間法人が運営する幼保連携型認定こども園（仮称）童浦こども園の整備が進められます。

北部保育園

山北保育園

議案第95号谷ノ口公園の設置及び管理に関する条例の一部改正
議案第96号使用料及び手数料条例の一部改正

谷ノ口公園の研修棟が3月に完成予定 公園使用料も変更されます

谷ノ口公園に、研修棟が3月に完成予定。4月から新たに研修室が利用できるようになります。また、これまでの利用状況や管理費を踏まえ、既存施設の使用料が見直され、4月1日から使用料が変更されます。

使用料金表

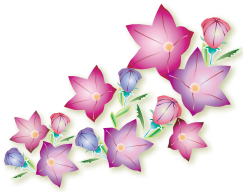
	旧料金	新料金
新規施設		
研修室	－	1,000円（1時間当たり）
既存施設		
野営場	－	2,000円（1張1回当たり）
炉	300円（1炉1回）	700円（1炉1回）
かまど	400円（1基1回）	800円（1基1回）
テント	300円（1張1回）	1,500円（1張1回）

・炉とかまどは、新料金では鉄板の使用料を含む
・1回は24時間以内

■平成29年第4回定例会議案一覧

議案番号	議案名
86	人権擁護委員候補者の推薦（鈴木　敏代氏）
87	人権擁護委員候補者の推薦（鈴木　洋子氏）
88	職員の育児休業等に関する条例の一部改正
89	市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正
90	児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正
91	田原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
92	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
93	田原福祉専門学校の設置及び管理に関する条例の一部改正
94	都市公園条例の一部改正
95	谷ノ口公園の設置及び管理に関する条例の一部改正
96	使用料及び手数料条例の一部改正
97	田原市消防団条例の一部改正
98	堀切地区津波避難マウンド整備工事請負契約の変更
99	東三河広域連合規約の変更
100	赤羽根診療所の指定管理者の指定
101	道の駅田原めっくんはうす6次産業加工施設厨房機器購入契約
102	公共下水道田原中継ポンプ場更新（長寿命化）の工事委託に関する協定の一部変更
103	土地の取得
104	専決処分の承認（平成29年度一般会計補正予算（第3号））
105	**平成29年度補正予算** 一般会計（第4号）
106	公共下水道事業特別会計（第1号）
107	農業集落排水事業特別会計（第1号）
108	介護保険特別会計（第2号）
109	**追加議案** **市長提出議案** 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
110	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
111	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
112	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
113	職員の給与に関する条例の一部改正
114	**平成29年度補正予算** 一般会計（第5号）
議発2	**議員提出議案** 田原市議会会議規則の一部改正

今定例会では、賛否の分かれた議案はありませんでした。



主な質疑

議案に対する委員会・本会議での議員の質疑・意見です

議案 No.90

新町児童遊園を廃止

問 新町児童遊園の跡地はどのように使われるのか。

答 近隣の三河田原駅前に整備している「まちなか広場」「親子交流施設」の駐車場としての利用を予定している。

（12／7　文教厚生委員会）

議案 No.93

田原福祉専門学校の実務者研修（通信課程）の授業料を減額改定

問 改定される授業料の金額の根拠は。

答 近隣にある4校の授業料を比較検討し、設定した。金額が安くなることによって、田原福祉専門学校での受講者の確保につながると考えている。

（12／7　文教厚生委員会）

議案 No.96

谷ノ口公園の使用料に研修室を追加、既存施設の使用料を改定

問 公園のオープンから1年たっていないが、使用料を変更する理由は。

答 3月に研修棟が完成するため、新たに研修室の使用料金を設定する。また、テントの維持管理費がかかったり、テントを持ち込んでの利用が非常に多かったりするなど、実際の公園利用の形が当初の想定と相違があったため、使用料金の見直しを早急に行うことが必要だと判断した。

（12／7　総務産業委員会）

議案 No.97

新たに女性消防団員を10人任用

問 女性消防団員を10人とした根拠は。

答 女性消防団員の主な業務は、救命講習の指導や式典への参加、大規模災害時の後方支援活動となり、これらの業務内容を考慮し、10人必要であると判断した。

（12／7　総務産業委員会）

議案 No.98

堀切地区津波避難マウンド整備工事請負契約の変更

問 盛り土の量と固化材（セメント）の必要量を正確に計算できなかったのか。

答 盛り土の量は、工事を進めていく中で造成、締め固めなどにより盛り土が沈降したことで、当初設計の予定数量より増加した。これにより、固化材も増加する必要が生じた。盛り土の材料となる山土は自然材料であることから、土の性質は様々で、大量の盛り土造成において沈降量を正確に見込むのは困難だった。

（12／7 総務産業委員会）

議案 No.99

東三河広域連合規約の変更

問 介護保険事業の保険者が東三河広域連合となり、統合されることによって、特別養護老人ホームの待機者の問題は解消されるのか。

答 保険者統合により、8市町村が一丸となることで、安定的な財政基盤が確立されることとなるため、充実したサービスが実施できるようになる。現在の待機者数は8市町村で413人、第7期介護保険事業計画最終年度となる平成32年度の見込みは442人となっている。現在の第6期介護保険事業計画の中で整備される特別養護老人ホームの8市町村合計定員数は576人となっており、待機者問題は解決できると考えている。

（12／7 総務産業委員会）

議案 No.100

赤羽根診療所の指定管理者を渥美病院に指定

問 指定管理に係る運営管理に要する経費はどの程度見込んでいるのか。

答 指定管理者に予定されている渥美病院から事業計画書で提案された金額は、3年間の合計で1億1700万円。詳細の金額は、年度ごとに締結する協定で決定する。

（12／7 文教厚生委員会）

議案 No.105

平成28年度補正予算一般会計（第4号）

補正額 2億9411万円

補正後の額 288億7566万円

主な内容

・赤羽根診療所開設に向けた事業費の増額

・ワールドサーフィンゲームス開催に係る負担金

・移行期対応英語教育推進事業

問 赤羽根診療所開設に係る経費の内訳は。

答 工事費として、診療所内の空調とトイレの工事、医師用住宅の改修・修繕工事の費用、備品購入費として、調剤に必要な分包機や診療所内のソファー、訪問診療用の軽自動車などを予定している。

問 ワールドサーフィンゲームスの開催費用を負担金とした理由は。

答 本大会は施策として誘致したこと、市は大会開催に共催という形で支援することを考えており、一定の責任があることから、負担金として支出する。

問 ワールドサーフィンゲームス開催の負担金3000万円の根拠は。

答 実業団駅伝など、スポーツ大会への市からの支援金額は、市の財政状況を踏まえ、その大会の全体運営事業費の2割から3割程度をめどとしている。このサーフィン大会の全体費用を約1億3000万円と見込んでいるので、その約2割にあたる3000万円とした。

問 平成32年度から小学校5、6年生で英語が教科となる。移行期間における学校へのフォローは。

答 各クラスで年間35時間行われる授業に、必ずALT（※）1人が入れるように計画。ALTによる先生への研修も予定している。市内の全小学校で同じ指導、同じレベルの学習水準が保たれるよう、また、小学校の英語と中学校の英語を結びつけることに加え、先生の不安を解消するため、英語教育推進コーディネーターを設置することも考えている。

（※）小中学校などの英語の授業で日本人教師を補助し、生きた英語を子どもたちに伝える、英語を母語とする外国人。

（12／8 予算決算委員会）

陳情書を審査

提出された陳情書「国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」「愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」について、12月7日の文教厚生委員会で審査を行った結果、いずれも不採択と決定しました。

ここが聞きたい

一般質問

議会ホームページで本会議の映像を見ることができます。

www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/

田原市議会 ▶ インターネット議会中継 ▶ 生中継・録画中継

ヘルプマークと一体化したヘルプカードの導入は

ヘルプマークの導入とあわせて検討する

辻　史子
公明党田原市議団

ヘルプマーク（※1）の導入について

問　緊急時や災害時などでも、周囲に支援を求めていることを知らせることができるヘルプマークの普及促進と導入が必要ではないか。

答　国や愛知県などの動向を注視しながら、導入について検討する。

問　ヘルプマークと一体化したヘルプカードの導入、配布を検討してはどうか。

答　ヘルプマークの導入とあわせてヘルプカードについても検討する。

ヘルプマーク

成年後見制度（※2）の利用促進について

問　成年後見制度の利用促進に向けた取り組み内容と利用状況は。

答　田原市成年後見センターでは制度の利用に関する相談の対応、制度の周知啓発、法人後見人や法人後見監督人の受任などを行っている。現在、市内で70名の方が成年後見制度を利用している。

問　相談件数の推移は。

答　消費者被害などの相談件数が増加している。また、一人が複数回の相談をするケースも増えている。

問　日常的に利用者を見守る体制が重要だと思うが、制度の利用促進への積極的な取り組みは。

答　民生委員への制度説明、高齢者支援センターや障害者総合相談センター職員をはじめ、認知症などで判断能力が不十分となった方を支援する専門医への研修を実施している。対象者と日頃関わっている事業者と成年後見センターが連携し、体制の充実に努めていく。

（※1）難病や内部障害を持つ方、人工関節を使用している方、妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が身につけることで、周囲の方に配慮を必要としているのを知らせることができる表示。

（※2）認知症や知的障害などで判断能力が不十分となった方を本人や家庭裁判所が選んだ親族や第三者が後見人となり、権利を擁護する制度。

歳出削減に向けた具体的な取り組み方針は

定員適正化計画により人件費を抑制、補助金見直し
ガイドラインに基づいて補助金の見直しを継続していく

小川　貴夫
自民クラブ

平成30年度予算編成方針について

問　歳出削減に向けた具体的な取り組み方針は。

答　義務的経費は、定員適正化計画による定数管理を行うことで人件費を抑制、物件費は、行政サービスのあり方から再検討・見直しをしていく。補助金は、補助金見直しガイドラインに基づいて見直しを継続していく。社会情勢に合わない補助金は廃止していく。

問　「将来に向けた人口増施策」の事業は。

答　「雇用の創出・就労促進」として、企業誘致による工業振興、和地太田地区の圃場整備を含む農業活性化事業、実践型地域雇用創造事業、JRディスティネーションキャンペーンと併せて開催予定の全国丼サミットなどがある。
「定住・移住促進策」として、サーフタウン構想の推進による交流人口の増や移住促進奨励金。また、空き家対策や赤羽根土地区画整理事業などがある。
「若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現」として、医師空白地域の赤羽根では4月に診療所を開設予定。子育て世代包括支援センターの設置や平成32年開園予定の（仮称）童浦こども園、平成31年度の伊良湖岬中学校との統合に向けた福江中学校の改修事業などがある。

問　「住み続けたいまちづくり」の事業は。

答　「地域の魅力・住みよさの向上」として、公共交通の充実、平成33年度使用開始予定の斎場整備、来年度から整備する親子交流施設、津波避難施設の建設などがある。

問　市長のマニフェストで調査・検討段階の事業は。

答　中小企業団地の企業誘致事業と福祉短大・看護学科の問題がある。これらの事業は平成30年度の予算措置は難しいが、引き続き調査、研究、検討していきたい。

一般質問

P 6	辻　史子	ヘルプマークの導入について 成年後見制度の利用促進について
P 7	小川貴夫	平成30年度予算編成方針について
P 8	仲谷政弘	水産資源を活用した地域・経済活性化について
P 9	平松昭徳	市役所の改善活動について 自動車の自動走行について
P 8	長神隆士	市民の健康づくりの取組について
P 10	河邉正男	住み続けられる、輝くまちづくりについて ごみ行政について
P 11	杉浦文平	児童クラブ、放課後子ども教室について
P 10	古川美栄	防災、減災の取組について

今後の水産業を盛り上げていく施策は

浜の活力再生プランの策定を進め、水産業の活性化に取り組んでいく

仲谷　政弘
自民クラブ

水産資源を活用した地域・経済活性化について

問　愛知県は三河湾における栄養不足等へ対応するため、矢作川と豊川の栄養分を増やす試験をするとのことだが、田原市の取り組みは。

答　今後、県と同様の取り組みができないか検討していく。

問　アサリやノリの品質と漁獲量確保のため、三河湾の水質や生育の調査を実施してはどうか。

答　必要に応じて漁業者や県と調整を図り、対応する。

問　今後の水産業を盛り上げていく施策は。

答　国が推進する「浜の活力再生プラン」の策定を進めている。アサリなどの資源回復や青ノリ養殖業の安定生産と品質向上などをプランの基本方針に位置づけ、水産業の活性化に取り組んでいく。

問　釣り人による経済効果を生み出す仕組みを工夫してみてはどうか。

答　買い物や食事、宿泊への誘導などについて関係者と検討していく。

問　渥美魚市場でアサリなどの貝類、ワカメ、ノリを含めた海藻の販売を試みてはどうか。

答　販売する場合は、漁協や水産業者との連携が必要。当面はイベント的に販売し、継続的な販売の可能性について検討を進める。

問　渥美魚市場で、一般客や観光客に競りの体験をさせることはできないか。

答　市場法により、一般客や観光客に直接販売することはできない。今後、魚市場を活用したツアーづくりに取り組む中で、競り体験の可能性を検討していく。

問　漁協、観光ビューロー、田原市が協力し、魚市場を多目的に活用できる方策を試みてはどうか。

答　実践型地域雇用創出事業を活用し、観光ツーリズムや特産品開発・販売の拠点化など、魚市場の活用についても取り組んでいく。

渥美地域に健康づくりの拠点施設を整備する考えは

市民館などを利用して、健康づくりを進めていきたい

長神　隆士
自民クラブ

市民の健康づくりの取組について

問　地域コミュニティと協働で健康づくりに取り組んだ事例は。

答　平成27年度に泉校区と健康づくりを考える会を開催した。校区の広報に健康だよりのコーナーを設け、校区主催のウォーキング大会も開催された。

問　泉校区の取り組みを全校区に広げる予定は。

答　今年度、赤羽根校区で健康づくりを考える会を開催し、肥満度や健診受診率、運動習慣など、地域の健康課題を一緒に考える場を設ける予定。地域で健康づくりの輪を広げていくこのような取り組みを全校区に拡充していきたい。

問　たはら健康マイレージを健康に関心のない世代へ広げるために行っていることは。

答　平成27年度から、校区のウォーキング大会など地域コミュニティの行事やボランティア活動など、身近なものをマイレージ対象事業とした。

県における自動走行の取り組みに市としてどのように関係していくのか

「あいち自動運転推進コンソーシアム」に加入し、事業への参加を進める

平松　昭徳
市民クラブ

市役所の改善活動について

問　事務事業などの改善活動に関して、市としての見解は。

答　限られた経営資源の中で行政運営を行うために、不可欠な活動であると捉えている。

問　改善活動研修を継続していくために、今後どのように取り組んでいくのか。

答　課内で選考した改善は課内全員で実践していく。職員が参加しやすい、面白みがある工夫をしかけ、改善活動研修の浸透を図っていく。

問　整理・整頓における市役所の現状は。

答　業務に支障がでるような状況ではないが、十分になされていないところもある。

問　4S（整理・整頓・清掃・清潔）を定着させるための具体的な方法を実施する予定は。

答　他市の取り組みの事例も参考にし、より効果的な方法を検討していく。

自動車の自動走行について

問　市が実証実験から得たものは。

答　自動走行に対する諸条件を整えることにより、交通弱者や高齢化、交通事故など、社会・交通問題を解決する手段の一つになり得ることを検証できた。

問　愛知県における自動走行の取り組みに、市としてどのように関係していくのか。

答　「あいち自動運転推進コンソーシアム」に加入し事業への参加を進める。

問　地域で活動している健康づくりリーダーを各市民館に配置して健康教室を実施できないか。

答　現在の健康づくりリーダーの人数では、全市民館に配置することはできない。健康教室などの依頼があった場合には、調整して市民館に出向いている。他に健康づくりのための出前講座も実施している。多方面で連携をとりながら、地域での健康づくりを支援していきたい。

問　田原地域には民間のフィットネスジムがあるが、渥美地域にはない。渥美地域に健康づくりの拠点施設を整備する考えは。

答　新たに渥美地域に民間のフィットネスジムのような施設を、市が整備していく考えは持っていない。地域にある市民館などを利用して、健康づくりを進めていきたい。

豊橋市と田原市で二つのごみ処理施設 経費削減につながらないのでは

二つの施設のお金を払ってやっていくというのは、田原市のためにいいのかというところに来ている

河邉　正男
日本共産党田原市議団

住み続けられる、輝くまちづくりについて

問　コミュニティ協議会における一番の悩みは、人材の育成と担い手づくりである。市の応援体制は。

答　地域の特性・実情を生かしたまちづくりを進めていけるよう、まちづくりアドバイザー（※）の有効活用を図っていく。

問　地域の負担感を減らすため、人を常駐させ、人材育成することが必要では。

答　継続した人的・財政的支援を行うとともに、地域の特性や実情に合わせた支援を考えていく。

問　若者による活力あるまちづくりを目指し、道の駅での学生による出店を支援するべきでないか。

答　道の駅と調整し、直営店舗での販売体験を行うことは可能。高校から要請があれば随時対応する。

問　住宅・店舗リフォームに幅広い補助制度を設ければ、市内の事業者に新たな仕事が生まれるのでは。

答　地域経済の好循環を図るための新たな住宅リフォーム補助制度は現在のところ考えていない。

問　ある町のリフォーム助成の評価分析では、3年間で2億6000万円の補助金に対し、波及効果は63億円余とされている。これをどう捉えるのか。

答　そのような状況は考えられる。効果があると認識している。

ごみ行政について

問　ごみ処理経費を削減するため、豊橋市と田原市で1か所のごみ処理施設を整備する予定であったが、豊橋市では田原市からの生ごみは受け入れない方針となった。両市で二つの施設をつくることになり、経費削減にはつながらないのではないか。

答　2か所の施設を稼働するのはメリットが低い。二つの施設のお金を払っていくというのは田原市のためにいいのかというところに来ている。引き続き豊橋市と調整していく。

（※）コミュニティ活動の支援、市と地域の連絡体制の強化を図るため、各コミュニティ協議会に3～4人配置している市職員。

災害時にボランティアセンターの運用をNPOなど任せる考えは

実績・経験のあるNPOなどと協力して対応していきたい

古川　美栄
自民クラブ

防災、減災の取組について

問　救急搬送が必要な避難者が来ると想定される医療救護所への救護用ヘリコプターの離発着の対応は。

答　市内全ての医療救護所で、緊急搬送に対応できるようになっている。

問　災害現場ではジャッキ、カッター、チェーンソーなど資機材が必要になるが、自主防災会への啓発はどのように行っているのか。

答　自主防災会が防災用資機材を購入する際は、「自主防災施設等整備補助金」を設け、支援している。

問　避難所における衛生面、感染症予防のため、エタノールなどの消毒液を備蓄してはどうか。

答　避難所で必要な備蓄資材について、実情に合った整備を検討していく。

問　女性の立場で避難所を運営・管理するのは重要だと考える。自主防災会への女性の参画をどのように考えているのか。

児童クラブに参加できない児童の把握は

参加の可否があることは認識しているので、今後、研究したい

杉浦　文平
無所属クラブ

児童クラブ、放課後子ども教室について

問　児童クラブと放課後子ども教室の違いは。

答　児童クラブは就業などにより保護者が昼間家庭にいない児童、放課後子ども教室はすべての児童を対象としている。実施している事業内容は同じ。

問　児童クラブ及び放課後子ども教室のすみ分けの判断基準は。

答　比較的小規模な小学校区には放課後子ども教室、それ以外の小学校区には児童クラブを開設している。

問　児童クラブに参加したくてもできない児童の状況を把握しているか。

答　参加の可否が生じていることは認識しているので、今後研究したい。必要があれば、調査を行っていきたい。

問　平成28年度に補助金を国に返還しているが、補助金を上手に活用すれば、返還せずにすむのではないか。

答　補助金は適切に処理している。今後は、より実態の把握に努め、補助要望を行っていく。

問　児童クラブ、放課後子ども教室のどちらかに統合した場合のメリット、デメリットは。

答　すべてを児童クラブとした場合、参加児童数が減少することが予想される。すべてを放課後子ども教室とした場合、参加児童数が増加し、新たな場所の確保や指導員の増員が必要となり、経費がかさむことが予想される。現在は、両事業を並行して行っている。

問　今後のサービス向上の考えは。

答　市内に拠点を定めて、毎週土曜日に開所できないか研究している。

答　運営側に女性リーダーや各自治会の女性部会が参加することは不可欠であると考えている。

問　災害時に、ボランティアセンターの運用をＮＰＯなどに任せる考えは。

答　実際の運用では、実績・経験のあるＮＰＯなどと協力して対応していきたい。

問　津波に備えるため、小塩津、堀切、日出地区の「ぼた」（※）の補強など、今後の見通しは。

答　堀切地区において、愛知県が海岸堤防の測量調査設計に着手している。手続きが整い次第、工事を進める計画であると聞いている。

（※）安政東海地震後に貝殻を積み上げてつくられた津波よけの堤防

お知らせ information

平成30年第1回定例会（3月議会）会期

2月27日(火)～3月22日(木)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27 本会議（施政方針・議案審議）	28 本会議（一般質問）	3/1	2 本会議（一般質問）	3
4	5	6	7 文教厚生委員会	8 総務産業委員会	9	10
11	12	13 予算決算委員会	14	15	16	17
18	19 議会運営委員会・同協議会	20	21	22 本会議（採決等）	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10:00　開会
（12～15日　予算決算委員会…9:00開会）
日程及び時間は、変更になる場合があります。

新年のごあいさつ

田原市議会議長　渡 会 清 継

輝かしい平成30年という節目の新春を迎え、市民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

昨年は、世界陸上ロンドン大会に女子マラソン日本代表として出場した清田真央選手をはじめ、田原市ゆかりのスポーツ選手が大活躍しました。今年9月には、サーフィンのオリンピックとして名高い「2018ワールドサーフィンゲームス（世界大会）」が田原市で開催されます。スポーツを通して、田原市から世界へ羽ばたき、国内だけでなく、海外でも田原市の名前が知られるように期待したいと思います。

さて、昨年、田原市議会では、1月に常任委員会の「総務」・「経済建設」・「文教厚生」委員会を「総務産業」・「文教厚生」委員会に改め、各委員会の定数を6人から9人にしました。これは、多様化・専門化する行政ニーズや増加する事務事業の審査に対応し、より多くの質疑・討論ができる委員会構成とするためです。また、7月からは議会BCP（業務継続計画）の検討を始め、8月には市民の皆さんと議員が車座になって、テーマについて意見を交換する意見交換会を開催するなど、平成22年に制定した議会基本条例の具現化に引き続き力を入れてきました。さらに、11月には平成28年に鳥羽市議会と締結した友好交流協定が、マニフェスト大賞の成果賞にノミネートされました。今年も議会改革の取り組みを継続し、さらに皆様に開かれた議会を目指します。

本年が皆様にとってより良い年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

マニフェスト大賞　成果賞に
鳥羽市議会・田原市議会がノミネートされました

「議会連携の強化を目指して～西日本初の地方議会単独協定締結～」

■ マニフェスト大賞とは

地方自治体の議会・首長や地域主権を支える市民などの優れた活動を広く募集し、その中から優れた取り組みが表彰されるというもの。審査委員長北川正恭さん（早稲田大学名誉教授・元三重県知事）と大学教授などの審査員10人で構成される審査委員会で選考されます。

Manifesto Awards

認定証

鳥羽市議会　田原市議会　殿

あなたは、地方創生時代における政策提言の向上に資する取り組みを行い、第12回マニフェスト大賞でノミネートに選ばれました。
ここにノミネートに認定されたことを証明いたします。

2017年11月1日
マニフェスト大賞審査委員会

■ 成果賞とは

マニフェスト推進賞など7部門の中の1つ。マニフェストの有無を問わず、活動を通じて政策を実現させ、成果を出しているものが対象です。具体的には、議会改革や住民を巻き込む手法、政策の策定プロセスの取り組みなどです。

■ 鳥羽市議会・田原市議会の取り組み

平成21年から議会同士が相互訪問をスタート。交流を続ける中で、伊勢湾フェリー航路存続問題の際も、両市議会が協力し、両市議会で意見書を可決して、国土交通大臣政務官へ提出しました。これからも交流を継続するため、協定を締結しました。成果賞にノミネートされた後、マニフェスト大賞の候補となる優秀賞には選ばれませんでしたが、今後も相互訪問や合同研修などで関係を強化していきます。

設楽町議会と合同研修・交流を行いました

12月22日、田原市で、田原市議会と設楽町議会が合同で研修を行いました。

議員同士の交流は、旧田原町と現在は設楽町となった旧津具村が平成2年に姉妹提携したことが縁となり始まったもので、平成13年からは、相互に訪問しています。

《合同研修》

- 中央図書館では、図書館長から図書館の概要と議会との連携についての説明を聞いた後、図書館長の案内で図書館内を視察。「写真でみる田原市議会」の展示を見た設楽町議会議員は、議会の良いＰＲになると感心していました。
- 豊川用水二期東部幹線併設水路芦ケ池工区工事現場では、水資源機構の案内で、トンネル内を歩いて視察。設楽町から続く豊川用水の関連施設を実際に見て、水の大切さを改めて実感しました。

中央図書館で「写真でみる田原市議会」を展示しました

11月11日から12月27日まで、議会・議員の活動を皆さんに知っていただこうと、中央図書館と協力して展示を行いました。

議会・議員の会議や視察などの活動を1か月ごとに「月間カレンダー」としてまとめ、写真と一緒に展示し、1年間通しての活動を紹介しました。

田原市議会会議規則の一部を改正しました

平成29年12月に開催された第4回定例会において、田原市議会会議規則の一部を改正しました。

女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、より良い住民サービスを実現するためのもので、議員が会議を欠席できる理由は、改正前まで「事故のため」のみでしたが、これに出産が加わりました。

施行日は、平成29年12月18日です。

11月2日
東三河市町村議会議長協議会要望活動

各市町村の要望事項を愛知県知事などに要望しました。

10月30日
三遠南信サミット2017in遠州

東三河、遠州、南信州地域で、行政・地元住民などによる一体的な振興を目指しています。

10月6日
総務産業委員会　市内視察

津波避難マウンド、拠点防災備蓄倉庫「田原市報民倉」、消防署渥美分署での救急訓練など市内施設を視察しました。

11月17日
教育委員会委員と意見交換会

文教厚生委員会が、教育委員会委員との意見交換会を行いました。

11月17日
豊橋･湖西･田原市議会議長協議会要望活動

（仮称）浜松三ヶ日・豊橋道路早期実現等を国に要望しました。

11月15日・16日
全国市議会議長会研究フォーラム

兵庫県姫路市で開催され、議会改革についての講演やパネルディスカッションを聴講しました。

有料広告募集

田原市議会では、財源の確保と地域経済の振興を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

- ■掲載ページ　最終ページ下段
- ■募集枠数　2枠（枠サイズ:縦55mm×横85mm）
- ■掲載号　平成30年4月15日号～平成31年1月15日号（全4回）
- ■掲載料　年41,120円（10,280円/回）
- ■参考情報　A4版カラー刷り　年4回発行
  市内の全世帯等に配布、市役所・公共施設で配布
  （1回20,700部発行）
- ■募集期間　平成30年2月28日（水）まで
- ■応募方法　「議会だより広告掲載申込書」に必要書類を添えて提出してください。
  申込書は議会事務局又は市議会HPからダウンロードできます。
  （直接持参の場合は執務時間内・郵送の場合は締切日必着）
- ■その他　「田原市広告取扱要綱」「田原市広告掲載基準」「議会だより広告掲載要領」「議会だより広告募集要項」をよく読み、規定を遵守してください。
- ■選考方法　広報広聴特別委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。
- ■問合せ先　田原市議会事務局　TEL:0531-23-3533　E-mail:gikai@city.tahara.aichi.jp
  ※詳しくはお問い合せください。

議会報告会

11月1日（水）：神戸市民館・野田市民館・清田市民館・和地市民館　　11月2日（木）：童浦市民館

9月定例会の報告では、延べ181名の方が参加してくださいました。

市民の声

あなたも自分の声を
議員に伝えて
みませんか？

（主な質疑・意見）

■Uターンで田原市に帰ってきた人が農業をするときの支援はあるのか。

■少子化は全国的な問題。この問題を田原市はどうしていくのか。人口が減ったら、税収も減る。30～50年後を考え、少子化対策の特別組織をつくったらどうか。

■高木住宅の建て替えは中止となり、古田に移すという話が市から校区に来ていたが、説明がない。全部の経緯を説明してもらわないとわからない。

■海が栄養不足になっている。窒素やリンがないと、食物連鎖が機能せず、アサリなどの海産物の量が減ってしまう。食物連鎖が機能するよう、海に栄養素を流してほしい。

■個人情報の問題もあるが、独居の高齢者や高齢夫婦のみの世帯について、病名や服用している薬、血液型などの情報を地域コミュニティで共有することはできないか。

■政務活動費の使途ははっきりしているのか。

■来年4月に開設予定の赤羽根診療所は、休日・平日夜間当直医のローテーションに組み込まれるのか。

■定住・移住促進奨励金は、田原市の人口増加や人口流出抑制につながっているのか。

■2月からごみの回収が有料になるが、炭生館の契約やその後のごみ処理はどうなるのか。

アンケートの自由意見から

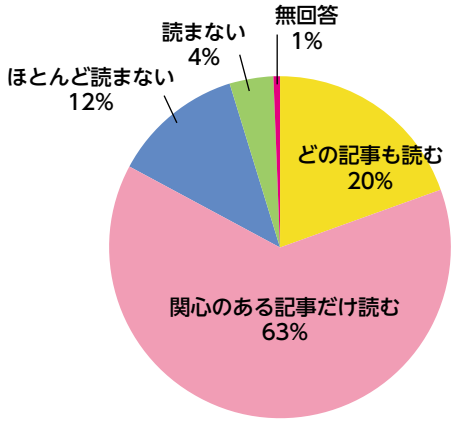
意見交換会が有意義でした。
次回がもしあれば多く出席したい思います。

女性が出席できるような工夫をしてもらいたい。

よく意見が出た（人口減少問題、少子化問題等について）良い事だと思う。

〈参加者のアンケートから〉

■「議会だより」を読んでいますか？



まちかどインタビュー Vol.16

東部中学校駅伝部のみなさん

愛知県中学校駅伝大会で優勝
全国大会で10位と健闘

全国大会の後に、選手の皆さんと監督に感想を聞きました。

○吉居駿恭さん　1区　2年
　僕は全国大会に出場するだけで満足してしまって大会に集中できず、良い結果が残せませんでした。次回は意識を高く持って入賞したいです。

○鈴木大輔さん　2区　2年
　入賞できず悔しかったですが、来年は、僕たちが後輩たちを全国大会へ連れて行ってあげられるようにがんばりたいです。

○髙橋洋也さん　3区　3年
　全国大会は10位となりましたが、みんなが精一杯力を出した結果なので、悔いはないです。とてもいい経験ができました。

○西田太郎さん　4区　3年
　夢の全国大会で走れたことはとてもいい経験になりました。この経験をこれからの競技生活や日々の生活に活かしていきたいです。

○寺田愛基さん　5区　3年
　僕は5区を走りました。全国大会では悔いなく走ることができました。僕たちをサポートしてくれて、ありがとうございました。

○白井勇佑さん　6区　3年
　僕はこの大会が最後だったので、何よりも楽しく走ろうと決めていました。最高の仲間たちと走ることができ、とても幸せでした。

○鈴木琢真さん　3年
　全国大会で、僕は出場選手をしっかりサポートすることができました。個人のオープンレースでは、自分が思うような記録が出てよかったです。

○神谷昌汰さん　2年
　僕は初めて全国大会に行くことができました。駅伝には出場できなかったですが、オープンレースでよい記録が出てよかったです。

○兵藤心音さん　2年
　僕は全国大会に行き、先輩や他の学校の人たちの動きを見て、いろいろなことを学びました。来年はこれを活かしてがんばりたいです。

○上田幸輝先生　監督
　夢のような時間を経験することができました。生徒のがんばりを支えてくださった保護者や地域の方々に感謝しています。連続出場に向けてがんばっていきます。

（聞き手：森下田嘉治・平松昭徳）

発行/愛知県田原市議会　編集/ 広報広聴特別委員会　〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1　☎ 0531-23-3533　FAX 0531-22-5952
http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/　gikai@city.tahara.aichi.jp

社会福祉法人 福寿園
愛と感謝と奉仕
養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里
【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008　FAX(0531)27-0828

募集
パートさん
しその葉の摘み取り作業
内職さん
しその葉の結束・パック詰め
（応募）まずはお気軽にお電話ください。
TEL 0531-37-0447
（有）前田園芸　田原市江比間町二字郷中45
自宅：TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。再生紙使用